

令和4年度 厚木北高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
①法令遵守意識の向上（法令の遵守、服務規律の徹底）	○法令をはじめ社会規範ルールを守り、教員全体の不名誉となる行為は行わない。	○勤務時間の内外を問わず、常に高い倫理感を持ち、自身の行動を律して、プロ意識の強化を図るべく、職員研修を計画的に実施し、同僚性を高めることにより、不祥事を防止した。 ○「教員のコンプライアンスマニュアル」を活用し法令遵守意識を高めた。
②職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	○ハラスメントを防止し、職員がその能力を十分に発揮できるような良好な勤務環境を整える。	○校長が、すべての教職員に個別面接を実施し、さらに困ったことがあれば、管理職に相談するよう周知することにより、良好な勤務環境を整えた。 ○ハラスメント防止に係る職員研修、リーフレットの配付、相談窓口を周知、アンケートの実施などにより、風通しのよい職場の雰囲気醸成した。 ○日頃から「気になることは、すぐに相談」と声掛けを実施し、不祥事防止の意識を向上させた。
③生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	○生徒との不適切な関係、立場を利用した不適切な行為（わいせつ行為）、生徒等を傷つけるような性的言動（セクシャル・ハラスメント）等を絶対に行わない。	○生徒指導等では、複数対応、情報共有、SNS等利用の禁止、生徒連絡先の適正な取得・管理、及び教科準備室等の適切な利用を徹底し、わいせつ等を防止した。 ○生徒にセクハラ防止のリーフレットを配付、アンケート実施など、セクハラに対する意識を啓発した。 ○校長による、全教職員への個人面接を実施し、わいせつ行為等の不適切な行為を根絶した。
④体罰、不適切な指導の防止	○体罰、暴言等の不適切な行為は決して許さない学校風土をつくる。	○校長がすべての教職員に個別面接を行い、不適切な指導の防止を徹底した。 ○不適切な指導を予防・早期発見するために管理職が定期的に校内を巡視した。 ○管理職及び職員が相互に「気になることは、すぐに相談」と声掛けを行い防止に努めた。 ○生徒へ校内における相談窓口を周知するとともに、部活動総点検を毎学期実施した。 ○「体罰防止ガイドライン」を活用し、校内研修により子どもの人権を守る人権意識を高めた。
⑤入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	○各業務に関するマニュアル等を厳守した適切な事務処理を行う。 ○相互チェック機能を強化する。	○入選要項等を精選し、複数体制で点検・確認を確実にを行うなど不祥事を防止した。 ○答案管理マニュアルを作成し、試験期間中は、管理職が毎日注意喚起をし、誤廃棄等の事故を防止した。 ○成績処理、進路書類に関するマニュアル等を整備し、複数チェック等の体制を徹底して事故・不祥事を防止した。

⑥個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	○生徒に係る個人情報を扱う際のルールを厳守する。 ○情報資産の機密性、完全性を維持する。	○教務手帳は指定のロッカーに保管し、管理職が返却の点検を行い、紛失を防止した。 ○個人情報持ち出し手続きを確実にを行うよう、管理職が管理簿を整備し、不祥事を防止した。 ○貸出し用USBメモリの棚卸しを定期的に行い、管理職が管理簿を整備し、不祥事を防止した。
⑦交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	○交通法規の遵守に努めるとともに、交通違反や交通事故を防止する。 ○酒酔い、酒気帯び運転を防止する。	○啓発資料を活用した研修を行い、また「交通事故防止」「飲酒運転は同乗者も免職」等を職員に注意喚起をし、職員の意識を高め、不祥事を防止した。
⑧業務執行体制の確保等（情報共有、相互チェック体制、業務協力体制）	○書類の整理・保管を徹底する。 ○危機管理意識の徹底と不祥事防止を図る。 ○適切な業務遂行環境を確立する。	○起案・決裁等を確実にし、決裁済みの文書はキャビネットに適切に保管するなど、文書管理を徹底した。 ○教育局からの通知や他校の事案等を周知し、注意喚起をするなど、危機管理意識を喚起し、不祥事を防止した。 ○管理職が業務分担を点検し、バランスの良い業務分担になるよう調整し、適正な環境を確立した。
⑨財務、事務等の適正執行	○備品管理の適正化を推進する。 ○不適正経理、不適切な現金取扱を防止する。	○現物照合を確実にし、備品管理を適正に行った。 ○会計事務の適正執行を徹底し、不祥事を防止した。 ○私費会計基準に則った会計処理を徹底し、不祥事を防止した。
⑩部活動指導の点検	○部活動の目的や活動の意義を再確認し、安全に配慮した活動を行う。	○部活動総点検を毎学期設定し、生徒用点検表、顧問・指導者用点検表を用いて、望ましい環境で活動ができているか管理職が確認を行い、不祥事を防止した。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題
(学校長意見)

- ・風通しがよく、職員間のコミュニケーションがとれており、ストレスの低い職場となっている。
気になることには、常に声を掛け合い、ハラスメント防止に向けた取組みを継続する。
- ・不適切な指導に対する職員の意識向上のために研修を実施してきたが課題があり、全職場の人権感覚を高めるための研修を更に充実させる。
- ・進路指導、成績処理、入学者選抜業務における不祥事防止に向けて、チェックシートを活用し複数チェックの取組みを行うなど、事故・不祥事を防ぐことができた。今後もチェック体制の精度の向上に取組み、不祥事の防止に努める。
- ・交通安全の意識を高める取組みを今後も継続する。
- ・文書管理、財務事務に関する業務執行体制がよく機能しており、不祥事を防止した。今後も体制の精度を向上させ、不祥事の防止に努める。